

Weekly コラム

令和 4 年 7 月 19 日

〒541-0055 大阪市中央区船場中央 2-1

船場センタービル 4 号館 4 階

船場経済倶楽部

Tel 06-6261-8000

(NPO 法人 SKC 企業振興連盟協議会) Fax 06-6261-6539

人の輪・衆智・繁栄

活動方針



当団体は、異なる業種の経営者が相集い、力を合わせ、自らの研鑽と親睦を通じて、斬新な経営感覚と新たな販売促進を創造して、メンバー同士でより健全な事業所とその事業所のイメージアップを図り、地域社会に貢献できる事業所となることを目的とする。

メタバースの未来

昔見た映画やアニメの中に登場するような仮想世界が誰でも手軽に体験できることで、今や1兆円市場に発展しようとしている「メタバース」は今後どうなっていくのでしょうか。

昨年 10 月にフェイスブックが社名を「メタ (Meta)」へと変更し今後、総額 100 億ドル (1兆円) を「メタバース」に投資すると発表され、同社の意気込みが窺えます。

「メタバース」は仮想現実 (VR) ゴーグルなどを使い、自分の「アバター」(分身キャラクター) で、自由に行動することができる仮想空間で、様々なコンサートやゲームなどを楽しむことができます。

その仮想空間で、このところ「土地？」が高値で売れているそうです。「土地」といっても、この地球上のどこにも存在しないのですが、仮想空間のなかで「土地」が売り出されると、買い求める人たちが殺到し、値段もつりあがっているそうです。さながら、メタバース版の「土地取引バブル」の様相です。

土地は「ランド」という単位で分けられ、不定期で売りに出されます。上限に達すると、それ以上はつくらないという決まりで、この希少性が「価値」を生む仕掛けのようです。

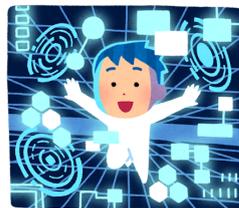
ここ最近、この土地取引に大企業が参入するようになって、さらに過熱しているといわれています。

イタリアの高級ブランドのグッチや、ドイツのスポーツ用品大手アディダスが、相次いでメタバース内で土地を購入しました。企業が買ったエリアは、にぎわいが期待され、また地価が跳ね上がる、という循環です。さながら日本の

バブル時の「駅前一等地」のようです。

東京の流行の発信地、渋谷でファッションビル「109」を運営する会社、SHIBUYA109 エンタテインメントも今年、土地を購入しています。「メタバース上の土地に、渋谷の街をつくりあげ、イベントの開催や広告関連ビジネスができる」とのことです。

その自由性と情報の双方向性、また利便性もあり、とにかく新たなビジネスモデルとして、注目を集めるマーケットになって行きそうです。



記事の内容に関するお問い合わせは事務局までご連絡ください。

ウィークリーはメールでの配信も行っております。お手数ですが、「メール希望」・「配信停止希望」と件名にご入力の上、skc-soudan@skc.ne.jp まで空メールをご送信ください。また、FAX ご不要の際は、その旨をお電話にてお申しつけください。